



SHO

TAKE FREE

5

2023 No.610



独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター 広報誌

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院・日本医療機能評価機構認定病院

■今月の PICKUP

〈がん総合医療センター紹介〉

がんと診断された あなたと家族を支えるために



〈表紙〉病院屋上からの風景。眼下には球磨川の流れや人吉城址公園の豊かな緑、遥か彼方には盆地を縁取る山並み。

■REPORT

地域医療を支える取り組み
卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定
院内研究発表会
教えて!! 片淵先生
新型インフルエンザ 5 類感染症へ

PLEASE SMILE

元気食レシピ／小松菜とシラスのチャーハン
MRI 室から大切なお知らせ
新任紹介



人吉医療センター
「がん総合医療センター」
腫瘍内科 境 健爾

がんと診断された あなたと家族を支えるために

知っておきたい
がんのこと

あなたを支える4つの療法

がんは4つの療法を組み合わせで行います。その療法とは、手術療法、放射線療法、化学療法、緩和ケアの4つです。

専門性・集学性

各診療科の専門の医師が皆で話し合い、そのひとに最良な治療の組み合わせが計画され、効果を診ながら再検討が行われます。

チーム医療

治療には、身体面・心理面・生活面・経済面・生きがいや価値観など多くの情報が必要です。医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、リハビリ担当療法士などががん専門の多職種が協働して対応します。

がん総合医療センター

概要

消化器内科、呼吸器内科、外科、泌尿器科、婦人科、放射線科、腫瘍内科の医師から構成された「がん専門」の検討会を日々(Cancer Board) 行っています。特に、多職種からなる化学療法チーム・緩和ケアチーム・がん相談支援チームを組織し、入院・外来すべてのがん患者さんのがん診療の支援を行っています。

果たすべき使命

球磨地域、えびの地域、伊佐地域において、地域で完結できる質の高いがん診療の実践のために、すべてのがん患者さんに充実した医療を提供します。

目標

専門性の高い各診療科に協働してもらいながら、多職種から構成された専門チームを組織し、各診療科で行われるがん診療(治療やケア) が、最適かつ円滑に行われるように支援します。

開設について

病棟8階を、がん治療専門のフロアーとして、外来化学療法室、入院化学療法病床、緩和ケア病床を設備した「がん総合医療センター」にする予定です。また、「がん専門外来(腫瘍内科外来)」と「がん相談支援センター」も設備する予定です。

地域医療を支える取り組み

当院は、2019年3月に「熊本県地域医療拠点病院」の指定を受けています。

拠点病院の役割として、人吉球磨圏域におけるネットワーク構築に向けた医療機関間の検討・実施、医師が不足する医療機関への医師派遣、地域医療を担う人材育成などが挙げられています。

このたび、泌尿器科部長 中熊健介医師を毎週木曜日、当院から人吉リハビリテーション病院に派遣する事になりました。

今後も、拠点病院として、くまもとメディカルネットワークの普及や、地域の医療従事者向けの研修会の充実などに取り組んでいきたいと思っています。

総務企画課 黒木 美佐



(左から) 中熊医師、人吉リハビリテーション病院 院長 櫻井健一先生、看護部長 楠木さゆりさん

卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定

当院はこの度初めて NPO 法人卒後臨床研修評価機構(略称JCEP)による第三者評価を受審し、令和5年5月1日付けで認定(4年)を受けました。第三者評価を受けることは、自院の研修の質の向上を図り、さらにより研修を目指す大変貴重な機会となります。

また、定期的にプログラムの検証、改善を行うため、プログラム自体の質的向上に役立ち、研修先病院として医学生の皆さんに安心して当院のプログラムにご参加いただけたと考えております。今後も、臨床研修指定病院として人材育成に積極的に取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

総務企画課 廣田 由美



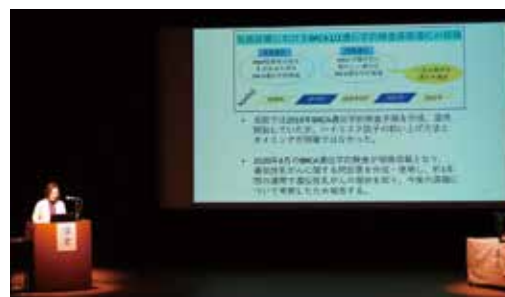
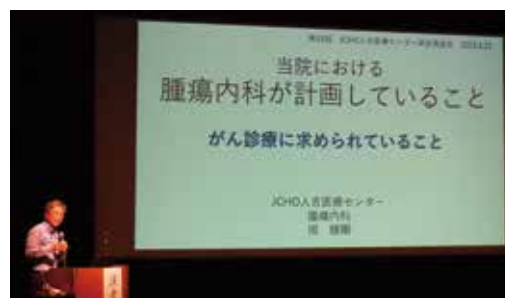
3年ぶりの院外開催

第34回JCHO人吉医療センター研究発表会

令和5年4月22日(土) JCHO人吉医療センター院内研究発表会を、人吉カルチャーパレス小ホールにて開催しました。水害やコロナ禍があり、3年ぶりの院外での開催に、院内職員や外部から84名が参加しました。

この日は計9題の演題発表があり、4月から赴任された腫瘍内科 境健爾先生は「がん診療の概要と課題～当院における腫瘍内科のビジョン～」をテーマに登壇。発表後は、フロアからも活発な意見が飛び交うなど、有意義な研究発表会となりました。

教育・広報・図書委員会 田頭 隼人





『チョコレート嚢胞』 甘くない若い女性の病気

新年最初の外来で、看護師さんやクラークさんと「お正月はいつも酢蛸を食べる」という話になり、思わず「なんで酢蛸？」と言ってしまいました。残念ながら、その理由はわからないままその場は終わりましたが、その後しばらくして読んだ渋谷 敦著の『海軍少将 高木惣吉 積乱雲』、上京する惣吉を囲んだ献酬の場面の一文で腑に落ちました。

「明治四十三年五月の下旬、出征兵士を送った例にならって村人は見たてを開いてくれた。この時、塩鯨の切り身と酢蛸が、大皿に盛り上げて出された、かどうかは定かではないが、山に囲まれた盆地人吉の、焼酎の座の最高の肴は二つに限られた。・・・猪や鹿の肉はいつでも食えたから、遠い海の香りと味のする、塩鯨と酢蛸の二品は最高の肴だった」。

酢蛸の謎が解けた上、海軍学校を首席で卒業し海軍少将まで昇進、命賭けで戦争終結を工作、終戦処理を果たした高木惣吉の信念の一生を描いたこの歴史小説は、人生観照の一冊でもありました。

さて、酸っぱい酢蛸ではなく、甘くないチョコレートの話題です。産婦人科ではチョコレート嚢胞と呼ばれる、卵巣にできる子宮内膜症(エンドメトリオーシス)があります。子宮の内側の子宮内膜は、妊娠が成立するとその一部が胎盤に変化し、胎児に酸素や栄養を送る大事な役目を担いますが、妊娠しない場合には血液とともに月経血として子宮から排出されます。実は、この子宮内膜を含んだ月経血は卵管を通して骨盤内にも逆流し、卵巣や子宮と直腸の間(ダグラス窩)、子宮の後ろを支える靱帯(仙骨子宮靱帯)に定着して子宮内膜症の原因となります。それぞれの場所で月経と同様に毎月出血を起こし、特に卵巣では血液が袋(嚢胞)の中に溜まり続け、古い血液が茶褐色の溶けたチョコレートのように見えるため、その名がつけられました(1921年:ジョン・サンプソン)。

子宮内膜症は、月経の始まる10代から発症し、20代、30代の女性では最も多い病気で、月経困難症、不妊、卵巣癌の原因になります。月経時の痛みは客観的に判断できないため我慢が続けた結果、妊娠を希望する時期にはその妨げになっていることがあり、不妊症の原因の約半分が子宮内膜症と言われます。

月経中ずっと鎮痛剤が必要である、月経時以外にも腹痛や腰痛が続く、月経時に下痢しやすい、性交痛がある、肛門に走る痛みがある、などの症状があれば、なるべく早く産婦人科の専門医を受診しましょう。

産婦人科 片淵 秀隆



【おしらせ】入院患者さんの面会制限を緩和しています

直接面会

面会時間／14時～19時

■ご面会の条件

1.「面会許可証」をお持ちの方



2.体調が良好な方

■ご面会のルール



マスク着用で
1日2名まで



面会時間に
15分以内



面会前後は
手指の消毒

タブレット面会

面会時間／14時～17時

■ご面会の条件

「入棟申請書」で
タブレット面会を申請。



■ご面会のルール



タブレット面会



面会時間に
15分以内



面会前後は
手指の消毒

※外来受診などで病院内に入られる場合も、マスク着用・検温・手指消毒をお願いします。

「新型インフルエンザ等感染症」から「5類感染症」へ

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、インフルエンザや感染性胃腸炎と同様の5類感染症に変更されました。

新型コロナの感染対策については、これまでの法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとしたものに変更されます。医療提供体制については、入院措置を原則とし行政の関与を前提とした限られた医療機関による特別な対応から、幅広い医療機関による自律的な通常の対応に移行していきます。

「5類」に移行しても、新型コロナウイルスの感染力や病原性が変わるわけではありません。今後も流行を繰り返していくことになると考えられています。地域での感染症の流行状況に関心を持ち、自らを感染症から守り、身近な人を守り、特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患をお持ちの方々に感染が及ばないように引き続き基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。

5類変更後の感染対策ポイント

基本的な感染対策	今後の考え方
マスクの着用	個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本。一定の場合にはマスク着用を推奨。
手洗い等 手指衛生	新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として、引き続き有効。
換気	
「三つの密」の回避 人と人との距離の確保	流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが、感染防止対策として有効。 (避けられない場合はマスク着用が有効)

熊本県人吉保健所長 服部 希世子

Please
Smile

(*´▽`*)

人吉医療センターのスタッフの笑顔をお届け!

一緒に病気について向き合い
いつでも相談できる看護師に

特定行為看護師 立開 光義

さらなる高齢化社会に向けて在宅医療等の推進を図っていくため、2015年10月に「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました。今回は、「特定行為に係る看護師」の研修を修了された立開さんをご紹介します。



気になることはなんでもご相談ください!

Q 看護師特定行為とは?

専門的な知識と技術を身につけた看護師が手順書に基づいて実践できる医療行為です。これまで医師が実践してきた医療行為を看護師が実践できるようになることで、病状変化や重症化回避のために迅速な対応ができるようになることを期待されています。

Q 受講したきっかけは?

看護師特定行為研修の存在は知っていました。上司からの勧めもありましたが、研修を受講することで医師の考え方や治療に一步踏み込んだアプローチができるようになるのではないかと考え、受講することにしました。

Q これからの目標は?

特定行為15行為を取得しましたが、まだまだ実践できていない行為も多いため、一つ一つ丁寧に実践できるようになるとともに、医療行為を実践するだけでなく看護師と医師の目線ももち「治療と生活」の両面から支援できるように研鑽していきたいです。

Q 患者さんに向けて一言

一緒に病気について向き合い、いつでも相談できる看護師でありたいと思います。気になることはなんでもご相談ください!



6月は食育月間

美味しく食べてカルシウム補給

小松菜とシラスのチャーハン

日本人の食事摂取基準に比較し、摂取量が不足しているとされる栄養素には、ビタミンA、ビタミンD、カルシウムが男女ともに挙げられます。今回はカルシウムとビタミンDについてお話しします。

骨は約3か月のサイクルで、骨形成と骨吸収を繰り返します。成長期には形成量のほうが吸収量より多く骨量が増加しますが、男性では50歳代から、女性では閉経後に吸収量のほうが形成量を上回るため骨量が減少します。

カルシウムは主に小腸で吸収されますが、20-30%と吸収率は高くありません。吸収を促進するビタミンDを合わせてとることが大切です。カルシウムは乳製品、小魚、大豆製品に、ビタミンDは鮭、青魚、キノコ類に多く含まれています。

カルシウムの多い小松菜とビタミンDの多いシラスを使ったレシピで、骨を健康に保ちましょう。



■材料(2人分)

ごはん-茶わん2杯分
卵—————1個
小松菜———1/2束分
シラス———大さじ3
ごま油———大さじ1
醤油———大さじ1/2
顆粒だし—大さじ1/2
いりごま———適量

■作り方

①フライパンにごま油を熱してみ
じん切りにした小松菜を炒め、
シラスも加えて炒める。
②①を一旦器に取り出し、卵を溶
き入れて炒め、ごはん①を順
に加えて炒める。
③醤油、顆粒だしで味をつけ、器
に盛っていりごまを振る。

管理栄養士 中村利枝

人吉医療センター MRI 室から大切なお知らせ

以前手術を受けて、体内に金属や機械が入っていませんか？

MRI 検査依頼前に必ず確認をお願いします！



脳動脈クリップ



ペースメーカー



骨折によるインプラント

その他
各種ステント
インスリンポンプ
人工内耳 etc

体内に金属や機械が入っているとMRI検査できない可能性があります。MRI対応であってもご連絡いただくと幸いです。必ず事前に確認してから検査依頼してください。安全第一をお願いします。皆さんのご協力が必要です。ご不明な時は、MRI室までお電話ください。

画像診断センター 吉松泰浩



上村 初美
(中央処置室・看護師)

趣味：読書、園芸
自分の性格：マイペース
コマーシャル：病院で電子カルテの入ったところは初めてです。
いろいろとご指導よろしくお願ひいたします。

理念 145年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

臨床研修理念

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

臨床研修の 基本方針

1. 人間性豊かな医療人の育成
2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
4. チーム医療のできる医療人の育成

5. 生涯学習をする医療人の育成
6. 地域医療に貢献する医療人の育成
7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

